

Domaine de Beurenard

ドメヌ ド ボールナル

フィネス溢れるエレガントなシャトーヌフ 飲めば納得できるトップの実力



ドメヌ・ド・ボールナルは、シャトーヌフ・デュ・パプで 8 世代に渡り家族経営でワインを生産してきました。現在はダニエルとフレデリック・クーロン兄弟が父のボールからドメヌの経営を受け継ぎ、兄のダニエルが主にブドウ栽培、弟のフレデリックが醸造を担当しています。シャトーヌフ・デュ・パプに 32 ヘクタール、コート・デュ・ロヌ・ヴィラージュのラストーに 25 ヘクタールの畑を所有し、25 年ほど前から有機栽培農法、20 年前からビオディナミ農法を採用し、合成化学物質を一切使用せず自然のサイクルに合わせてブドウを栽培しています。正式に認定を受けたのは、有機栽培が 2010 年、ビオディナミ栽培が 2011 年です。(写真左端:ダニエル&フレデリック・クーロン兄弟)

シャトーヌフの大きな丸石は、太陽熱を吸収してブドウの熟成を促し、凝縮感のある熟れた果実を实らせませす。ロヌの典型とも言える 13 品種のブレンドがワインに格別な複雑味を与えます。発酵はオークの大桶を使用し、最長で 35 日間かけてゆっくりと成分を抽出する昔ながらの手法を守っています。熟成には、小樽(228L)、フードル(30hl)、円錐台形の大桶(80hl)を使用しています。果実のフレッシュなアロマを損なわないよう、新樽率は平均 10%前後に留めています。



1695 年の記録によると、ドメヌの名は元々「ボワルナル」であったものが時を経て「ボールナル」と呼ばれるようになったそうです。最も樹齢の古いブドウで造る「キュヴェ・ボワルナル」は、原点の意味をこめ、この古い名称が付けられました。ボールナルの古いブドウ畑は、昔から赤・白分け隔てなく様々な品種を混植しています。伝統的手法で作る混植・混醸ワインは、どの品種が何パーセント入っているのか厳密には分かりませんが、畑全体で自然にバランスがとれるため、正にテロワールの持ち味が余すところなくワインの味わいに反映された自然派ワインと言えるでしょう。

ボールナルのワインには、ユーロリーフ、AB マーク、デメテル等の有機栽培およびビオディナミ栽培の認証ロゴが付いています(一部のワインを除く)。

■2015 ヴィンテージ情報■ 暑く乾燥した天候が長く続いた良年で、8 月に大雨に見舞われたものの、夜間の冷涼な気候と収穫期のカラッと晴れた晴天のお陰で、フレッシュな酸を湛えた熟成感のあるパーフェクトなブドウが収穫出来た。特にグルナッシュやムールヴェードルにとっては当たり年で力強くパワフルなワインに仕上がった。南ロヌの多くの作り手にとって 2015 年の収穫は非常に喜ばしいものだったが、エレガントな 2013 年や 2014 年に比べ、暖かい年となった 2015 年は、熟成感のある力強くパワフルなスタイルが際立ち、南ロヌらしいヴィンテージとなった。赤ワインは、豊かな色合いとシルキーなタンニンを湛え、酸はやや低めだが、フェノール成分とアルコール分の高さは、2007 年を彷彿とさせる。

■2016 ヴィンテージ情報■ 2016 年は、卓越した 2010 年や 1990 年など稀代のグレート・ヴィンテージに引けを取らない偉大な年として記憶される。比較的穏やかな天候が続いた冬の後、乾燥した冷涼な春が訪れ、夏は最高気温 35°C を超える猛暑となり、非常に暑い日が 9 月初旬まで続いたが、うだるような暑さが一日中続いたわけではなく、昼夜の寒暖差が極めて激しく、この特徴が 8 月初旬の熟成期に顕著に見られたため、ブドウの熟成にとっては極めて理想的な天候条件で、ポリフェノールの成熟を促した。夏は雨が少なく乾燥し、8 月は降水量が僅か 8.4 ミリ程に留まったが、9 月中旬頃に 2 日間霧雨が続いたお陰で、豊かなフェノール成分を蓄えた健康状態の極めて良好で上質なブドウが収穫出来た。

■2017 ヴィンテージ情報■ 1 月は過去 5 年間で最も寒冷で 2 月初旬に気温が急上昇し、3 月末には、早熟の年となることが予想された。4 月末にフランス全土を霜が襲い、シャトーヌフでは 4 月 20 日に 3.7°C を記録したが、その後は暑い天候が続き、6 月下旬には 30°C を超える猛暑となり、2003 年に次ぐ最も暑い年となった。7~9 月の降水量は前年を大きく下回る乾燥した夏となった。収穫は 9 月 1 日から開始し、穏やかな秋晴れに恵まれた。夏の干ばつの影響でグルナッシュにクリュールがあり、収量は平均 23hl/ha と過去 10 年の平均 30hl/ha を大きく下回ったが、品質は非常に高く、赤は芳醇な果実味にシルキーなタンニン、白はフレッシュでフルーティな果実味を湛えた極めてバランスの優れたワインに仕上がった。

■2019 ヴィンテージ情報■ 2019 年は、7 月の熱波の影響で果汁の量が少なく、低収量の年となった。それでも白ブドウの一番搾り果汁に関しては、2018 年の収量にほぼ匹敵する量が得られ、白ブドウ果汁全体としての収量も前年に極めて近いものとなった。この年の白ブドウは、酸のバランスが美しく趣があり、偉大な白ワインとロゼができた。発酵過程においては、多大な労力を要したが、品質の高いワインが生み出される年となるだろう。黒ブドウに関しては、予想通り低収量で、若木は平均比 30~40% の収量減となり、古木のブドウに関しては秀逸で、殆ど減収は見られなかったものの、果汁量が少なかったため、黒ブドウ全体の収量は予想を下回る結果となった。

■2020 ヴィンテージ情報■ 冬は穏やかな気候で、雨が多かったため、地中に十分な水分を蓄えることができた。3 月下旬に霜が降りたが、幸いなことに被害は限定的であった。春の間は、ブドウを保護するためにティザンヌ(植物の煎じ薬)と精油を定期的に散布した。開花は 5 月の 2 週目から始まり、この年の生育サイクルの早さをうかがわせる。収穫時の天候は素晴らしく 8 月 25 日から 9 月末まで収穫を行った。この年は、フレッシュさと果実味を湛えたバランスの良い味わいが特徴的。

■2021年ヴィンテージ情報■ 2021年の冬は、とても暖かく、早い段階で芽吹きが始まり、順調な生育が期待されていた。しかし、4月上旬に発生した霜がフランスのワイン産地に深刻な被害をもたらした。ラストーにも寒波が押し寄せ、気温が-4.5°Cまで急激に下がり、大幅な減収が見込まれた。幸いなことに、適時・適切な剪定やブレパラシオンの散布などが功を奏し、被害を抑えることができた。夏は、急激な気温上昇はなく、雨も数える程で夜は涼しかったため、ブドウは理想的な成熟を迎えた。収穫は、9月7日~10月8日まで続いた。収穫中は激しい雨や雷雨に見舞われたが、我々の畑の樹は、背の高い仕立てで、風通しが良く、過度な湿気にさらされることがなかったため、健全で上質な果実を収穫することができた。

~ White Wine ~

2020 Châteauneuf du Pape Blanc

上代価格 ¥7,200(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ブラン

JAN: 4543190172424

シャトーヌフ・デュ・パプの総生産量のうち、白ワインの割合は僅か 7%。クーロン家が誇る希少な白ワインは、クレレット由来の花の香りとフィネス、グルナッシュ・ブランのしっかりしたストラクチャーとクリーミーなテクスチャー、プールプーランの上質な酸がもたらす筋骨隆々としたスタイルに、ルーサンヌのアブリコットを思わせる豊かなアロマが香ります。

■テクニカル情報■ 産地:ローヌ南部/AOC シャトーヌフ・デュ・パプ 畑面積:35ha 平均収量:35hl/ha アルコール:14%前後
品種:クレレット・ブランシュ&ロゼ、グルナッシュ・ブラン&グリ、プールプーラン、ルーサンヌ、ピクプール&ピカルダン
醸造:ブドウは100%手摘みで厳しく選別し、優しく圧搾。ステンレスタンク、小型のフードル、バリックで6ヶ月熟成。

■コメント■ 上品な花のアロマが香る。フレッシュで生き生きとした果実味を湛え、後味に仄かな塩気が漂う。プロヴァンス地方のガリーグを彷彿とさせる爽やかな味わい。

★パーカーポイント92点 2022年5月6日 ジョー・ザウンスキー(飲み頃:2021-2024年) 香り高い、大胆なアロマとともにライムの皮や白桃の上品なニュアンスが香る。ミディアム〜フルボディのふくよかな味わいだが、直線的で澁刺とした酸を湛え、柑橘類の皮のアロマを帯びた余韻の長い後味がどこまでも続く。

他誌評価:★ワインスペクテーター92点 ★ジューズ・サックリング91点



2016・2017 Châteauneuf du Pape Blanc Cuvée Boisrenard

上代価格 ¥9,300(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ブラン キュヴェ ボワルナル

JAN: 4543190157049

ボワルナルの古い畑は、昔から様々な品種を混植しています。キュヴェ・ボワルナル・ブランは、樹齢60〜100年の古樹が育つドメーヌで最も古い畑から厳選した白ブドウ6品種を樽で発酵・熟成させて作る特別なキュヴェで、古樹ならではの凝縮感と複雑味は、白ワインとして極めて稀有であり、収量も限られるため、大変希少価値の高いワインです。

■テクニカル情報■ 産地:ローヌ南部/AOC シャトーヌフ・デュ・パプ 品種:クレレットとルーサンヌを主体とした6品種の白ブドウ(グルナッシュ・ブラン、プールプーラン、ピクプール、ピカルダン) 畑面積:32ha 樹齢60〜100年 アルコール:14% 収量:19hl/ha
土壌:丸い小石を多く含む粘土石灰質土壌 醸造:手摘みで厳しく選別して空気圧で圧搾し一部新樽を用いて樽発酵。その後オークの小樽で熟成させ、円やかなタンニンとクリアな透明感を引き出し、バランスを整えてから無濾過で瓶詰。年間生産量:4800本

■コメント■ 外観は、銀色の反射光を纏った鮮やかなゴールド・グリーン。洋梨と白い花を思わせるアロマに、レモンやタイムのニュアンスが香る。味わいはフルボディで、洋菓子のペストリー生地を思わせるエレガントな香りが口内を満たし、塩気のあるミネラルを湛えた美しい後味が余韻に広がる。

2016VT★ワイン・スペクテーター95点 2018年10月15日(飲み頃:2018~2020年) 実に魅惑的なワインで、ヒースの木、蜂の巣、ヘーゼルナッツの香りが、クリームをかけたイエローアップルやミラベルプラム、メロンを思わせる果実味を柔らかく包み込む。レモンゼリーの香りがワインの味わいに生き生きとしたエネルギーを添え、余韻の長い後味を生む。生産量250ケース。

2016VT 他誌評価:★ヴィノス91点

2017VT★パーカーポイント94点 #238 2018年9月1日(飲み頃:2018~2025年) 2017年のボワルナル・ブランは最高級の白ワインである。ブドウはクレレットとルーサンヌが主体で、熟成には木製のフードル(65%)と小樽(35%)を使用。トロピカル系の果実を思わせる早熟で贅沢な味わいで、トーストやキャラメル風味に仄かな蜂蜜の香りが感じられる。芳醇で豊かな味わいをしっかりと酸が引き締め、バランスをとっている。後味は極めて余韻が長く、パイナップルやヴァニラの美味な味わいが広がる。

2017VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター96点 ★ヴィノス93点



~ Red Wine ~

2020 Côtes du Rhône

上代価格 ¥2,900(税別)

2021 Côtes du Rhône

上代価格 ¥3,000(税別)

コート デュ ローヌ

JAN: 4543190170970 (2020VT) JAN: 4543190172127 (2021VT)

ラストーの粘土石灰質の畑と、小石を多く含むオランジュの畑で育つグルナッシュが豊かなボディと円やかな味わい、しっかりと骨格を与え、シラーがフルーティな果実味とスパイスの風味、エレガントなタンニンを添えます。

■テクニカル情報■ 産地:ローヌ南部ラストー/シャトーヌフ・デュ・パプ北部オランジュ (AOC コート・デュ・ローヌ)
品種:グルナッシュ70%、シラー30% 平均樹齢:45年 アルコール:14%前後 ※ビオダイナミ農法・有機栽培
土壌:石の多い粘土石灰質土壌 醸造:手摘みで厳しく選別。天然酵母を用いて発酵。繊細な味わいを表現するため、香味成分を優しく抽出。

■コメント■ 鮮やかな輝きを湛えた深みのある紫色。ブルーベリーを思わせるよく熟れた果実のアロマが香る。口に含むと、熟れた果実の香りが口内いっぱいになり、仄かなガリーグ(灌木林)の香りが心地よくフレッシュな爽快感を導く。素晴らしい凝縮感と極めて柔らかなタンニン、余韻の長い後味が印象的。

2020VT★ワイン・スペクテーター88点 2021年12月5日掲載

緻密なストラクチャーとともに感じられる心地よい紅茶、サンダルウッド、ラズベリーのアロマがフィニッシュまで続く模範的なワイン。5,000ケース生産。



2019 Rasteau 2020 Rasteau

上代価格 ¥3,500(税別)
上代価格 ¥3,800(税別)

ラストー

JAN:4543190149044 (2019VT) JAN:4543190171366 (2020VT)

日照量の多い南向きの斜面に粘土石灰質土壌が連なる最高のテロワールを誇るラストーは、2010年から単独のアペラシオンとしての表記が認められるようになりました。

■**テクニカル情報**■ 産地:ロース南部/AOCラストー 畑面積:25ha 土壌:青粘土に粘土石灰質土壌が連なる 収量:30hl/ha
品種:グルナッシュ 80%、シラー17%、ムールヴェードル 3% アルコール:15%前後 醸造:ブドウは除梗し、天然酵母で18-28日間自然発酵させ、マストを清澄し大桶と大型フールドルで12ヶ月熟成。

■**コメント**■ 重厚で深みのある色合い。ガリーグと野生のブラックベリーの香りを湛えた心地よくフレッシュなアロマ。口に含むと、野生のラズベリーやローズマリー、タイムの風味が香るフルーティでスパイシーな味わいが口内を満たす。ストラクチャー、バランス、ミネラルのどれをとっても、素晴らしい熟成ポテンシャルが感じられる。

2019VT★ワイン・スペクテーター91点 2021年12月15日(飲み頃:2021~2024年)

フレッシュで焦点の定まったアロマを持ち、カシスとプラムのしっかりとした果実味に仄かに黒鉛のような香りが感じられ、後味には心地よいアニスのニュアンスが広がる。5,000ケース生産。

2020VT★ジェームズ・サックリング92点 2022年3月21日

ワイルド・ブラックベリーとダムソン(プラム)の濃厚なアロマが口中に広がり、まとまりのあるタンニンと快活な酸が生き生きとしたクリアな印象をもたらす。リコリスや野生のハーブの豊かなアロマを伴う焦点の定まった後味が長く続く。



2019 Châteauneuf du Pape Rouge

上代価格 ¥7,200(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ルージュ

JAN: 4543190171373

クーロン家は環境に優しい栽培手法を50年以上守り続け、デメテルよりビオダイナミの公式認定を受けています。フレッシュで豊富な果実に洗練されたハリのあるタンニン、樽由来のチョコレートやスパイスの香りが感じられます。

■**テクニカル情報**■ 産地:ロース南部/AOCシャトーヌフ・デュ・パプ 畑面積:32ha 樹齢:50年以上 栽培:有機栽培・ビオダイナミ
品種:グルナッシュをメインに13種のブドウをブレンド アルコール:15%前後 土壌:大きな丸い小石を多く含む粘土石灰質土壌 収穫:小さなバケツを用い最も状態の良い実だけを手摘みで収穫 醸造:除梗し軽く破碎。発酵槽で凝縮された香味成分をゆっくりと最大限に抽出。その後、オークの小樽、フールドル、円錐台形の大型の樽を使って12ヶ月熟成。

■**コメント**■ 美しく深みのある鮮やかなルビー色。チェリーやフレッシュなブルーベリーの香りに、ローズマリー、セイヨウネズ、ヒマラヤスギを思わせる種々のスパイスの風味が香る、複雑味のあるアロマ。味わいは大ぶりで恰幅が良く、ピリッとした酸味の効いたチェリーに、ガリーグ(灌木林)のニュアンスが香り、フレッシュな後味が広がる。滑らかなタンニンを湛えたエレガントな味わい。

★ヴィノス92点 2021年8月(飲み頃:2024~2032年)

輝きのあるルビー色。赤いベリーやチェリー、ミネラルのアロマにガリーグや濃厚な花のニュアンスが加わり、表情豊かに香り立つ。エネルギーを湛えた焦点の定まった味わいで、ワインが開いてくれにつれて、瑞々しいブラックラズベリーやビターチェリーの風味がより深く、より甘みを帯びていく。力強さとスパイシーさを湛えたジューシーな果実味が口中に染み渡るように広がっていき、タンニンと幾度も表れる花のニュアンスが溶け合い、長い余韻へと続く。他誌評価:★ワイン・スペクテーター93点 ★ジャンシス・ロビンソン16+/20点



2015 Châteauneuf du Pape Rouge Cuvee Boisrenard

上代価格 ¥9,900(税別)

2019 Châteauneuf du Pape Rouge Cuvee Boisrenard

上代価格 ¥11,500(税別)

シャトーヌフ デュ パプ ルージュ キュヴェ ボワルナル JAN: 4543190156691 (2015VT) 4543190171380(2019VT)

1990ヴィンテージから続くキュヴェ・ボワルナルは、様々な品種が混植されたドメーヌで最も樹齢の古い畑から採れる13品種で作るラグジュアリー・キュヴェ。グルナッシュ、シラー、ムールヴェードル、白ワイン品種も含む13品種が奏でるエレガントなハーモニー、テロワールが生み出す卓越したバランスを湛えた複雑な味わいは、まさに圧巻です。

■**テクニカル情報**■ 産地:ロース南部/AOCシャトーヌフ・デュ・パプ 品種:グルナッシュを主体に13種のブドウをブレンド。
畑面積:32ha 樹齢60-100年 アルコール:15%前後 土壌:大きな丸石、砂、鉄分を含む粘土石灰質土壌
醸造:除梗し軽く破碎。熟成:2015VTは、18ヶ月オーク樽熟成、2017VT及び2019VTは12ヶ月、円錐台形の大型の樽及び樽で熟成。

■**コメント**■ 美しく輝くディープパープル。スパイシーなニュアンスとミネラルの香りを湛えたフルーティで複雑なアロマが表情豊かに香る。赤果実、黒果実、なめし皮、ガリーグ、リコリス、スパイス、ミネラルの香りが広がる素晴らしく複雑な味わい。シルキーなタンニンとストラクチャーを湛え、余韻の長い後味が広がる。最高にエレガントなワイン。

2015VT★パーカーポイント91点 #233 2017年11月1日(飲み頃:2016~2031年)

新樽率僅か10%のためオークの樽香はやや控えめだが、現時点では、ダークプラムとコーラの風味をくすんだ焼きスパイスの重厚な風味が包み込むように感じられ、テクスチャーは芳醇でヴェルヴェットのように滑らかな質感を湛えている。ドライフルーツのようなニュアンスが僅かに感じられ、余韻の長い重厚な後味が広がる。全体的なクオリティとしては非常に秀逸なワインと言える。

2015VT他誌評価:★ワイン・スペクテーター97点 ★ヴィノス92-94点 ★ジャンシス・ロビンソン17/20点 ★ジェームズ・サックリング92点

2019VT★パーカーポイント93+ 2022年5月6日(飲み頃:2023~2035年)

香りは、ミントとガリーグのニュアンスがブラックチェリーとプラムのアロマを際立たせ、焦がしたオークの香りが仄かに漂う。味わいは、リッチでベルベットのよう滑らかなさを備えたフルボディ。美しく濃厚な味わいが広がり、モカのアロマを帯びた後味が長く続く。1、2年で柔らかな味わいへと発展するだろう。10年以上は美味しく味わえる。

2019VT他誌評価:★ヴィノス95点 ★ワイン・スペクテーター94点★ジェームズ・サックリング94点★ジャンシス・ロビンソン18+/20点

